



Clean Authority of TOKYO

ISO 14001



JTCCM
EMCA
RE 0666



MS
JAB
CM015

有明清掃工場だより 第32号

発行 東京二十三区清掃一部事務組合 有明清掃工場
〒135-0063 東京都江東区有明二丁目3番10号
TEL:03-3529-3751 FAX:03-3529-3764
URL: <http://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/>

発行日 平成31年3月12日



【「有明清掃工場だより」は、工場の運営状況や、さまざまな取組をお知らせしています。年2回発行】

延命化工事の概要

清掃工場の耐用年数は、通常25～30年ですが、当工場ではこれを40年程度まで延命化する工事を平成29年度から31年度にかけて実施しています。平成31年3月現在は、外壁・エレベータの改修中で予定どおり順調に進んでいます。

主な工事項目		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業期間		—————		
プラント設備	プラント基幹設備	実施設計・機器製作	1号炉工事 機器製作	2号炉工事
	受変電設備		更新工事	更新工事
	ごみクレーン		機器製作	更新工事
建築関係	外壁		改修工事	
	エレベータ		機器製作改修工事	

※ 定期点検補修工事及び中間点検は、例年どおり実施します。

※ 平成30、31年度における延命化対象炉の定期点検補修工事については、延命化工事期間内に行います。

延命化に伴う外壁その他改修工事

延命化に伴う外壁その他改修工事では、工場棟の全周囲に足場を組み、外壁のタイル補修や塗装等を行いました。赤丸箇所は、特に劣化していた部分です。



施工前



施工中



施工後

有明清掃工場の操業実績

※数値は、速報値です。

期 間	ごみの受入量 (t)	ごみを燃やした量 (t)	熱エネルギーの有効利用		
			発電量(MWh)	高温水 供給量(GJ)	売熱 蒸気量(GJ)
平成30年8月～ 平成31年1月	45,537	47,791	6,940	7,798	92,008
(平成29年度同期間)	62,604	65,629	11,088	7,905	167,164

- 1 発電量 6,900MWh(メガワットアワー)は、約69万世帯の1日分の電気量です。(4人世帯の1日の消費電力を0.01MWhで計算。)
- 2 高温水供給量 隣接の有明スポーツセンターへ熱源として無償で供給しており、温水プールや冷暖房のために利用されています。7,800GJ(ギガジュール)は、約1万8千トンの水(25mプールなら約45杯分)を0度から100度にてできるほどの熱量です。
- 3 売熱蒸気量 お台場・有明地域の地域冷暖房の熱供給事業者へ売却している蒸気量です。

排ガス中のダイオキシン類測定結果

ごみを燃やすと有害物質のダイオキシン類が発生します。清掃工場では、ごみを高温で燃やすことでその発生を抑制し、さらに排ガス中に生じたダイオキシン類は、フィルターや薬品の働きによって除去した後に、煙突から大気中へ放出しています。煙突の中ほどで、濃度を定期的に測定し、法律で定められた基準値を大幅に下回っていることを確認しています。

項 目	基準値	調査値	調査年月日	単位
1号炉	1	0.00000019	平成30年11月28日	ng-TEQ/m ³ N
2号炉		0.00000041	平成30年10月10日	

※ng(ナノグラム)は、10億分の1グラムの質量を表します。

※TEQ(毒性等量)とは、ダイオキシン類の量を最も毒性の強い2,3,7,8-四塩化ジベンゾ-パラジオキシンの毒性に換算した値です。

※m³N(ノルマル立方メートル)は、0℃、1気圧の標準状態における気体の体積を表します。

総合防災訓練を実施しました

平成31年2月22日に、工場内合同(工場及び運転委託職員)の総合防災訓練を実施しました。今回の訓練は、東京湾を震源とする震度6強の地震に伴い、焼却炉や管路収集が緊急停止し、見学者にけが人や場内で火災が発生した想定で行いました。

当日は消防署職員が立ち会いの下、清掃一組本庁への連絡、消防署への救急や火災の通報、けが人・見学者や搬入車の誘導、工場内の点検、自衛消防隊による初期消火、救急車や消防隊の誘導などの総合的な訓練を行いました。

また、訓練終了後には、消防署職員の指導による消火器での放水消火、三角巾による負傷者の応急手当、AEDの使用や心臓マッサージなどの訓練も行われました。



災害対策本部立上げ



消防署職員立ち会い



自衛消防隊初期消火



消火器での放水



三角巾での応急手当



AEDの使用及び心臓マッサージ